
募金してはいけない募金箱

火水 風地

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

募金してはいけない募金箱

【Nコード】

N8379B

【作者名】

火水 風地

【あらすじ】

ある喫茶店に入った俺は用も済み、会計も済んだ、なのに一人そこに立ち尽くしていた。

(前書き)

この話はしょぼい話です

俺は今、初めて来た詩戯茶（あし）という個人経営らしい喫茶店にいる。
そして今、俺は目の前の箱に驚きを隠せないでいる。

そのサッカーボール程の大きさの真四角の箱には、鈍く光る円形の通貨やらギンギラに照かる丸っこい通貨やらが普通のそれではありえない程たんまりと入っていた。

そして何より俺が驚愕する要因となっているものは、その宝箱の表面にしっかりと貼られている紙にあった。

『この募金箱にはお金を入れてはいけません！ もし、入れてしまったら大変なことになりますよ！』

正直なところ意味が分からなかった。そもそも募金箱というものは募金するためにあるものだ俺は理解している。しかもそれは当然の如く世界の常識となっているはずだ。

しかしここで疑問が浮かんでくる。募金するものがない筈の募金箱にどうしてお金が溢れんばかりに貯まっているのかということだ。……自分なりに考えてみたが、やはり意味が分からない。

「こうなりや、小銭いれて様子でも観るか」

深く考えても何の閃きも訪れなかったので、俺は行動をすることにして、ポケットから百円玉をサツと取り出した。小銭はそれしかなかったのだ。そして俺はその小銭を募金箱にそつと落とし入れた。

ちょうどそのころ、アメリカのある少年はこれから起きることなど知る由もなくのんきに深夜にも関わらずある映画を見ていた。題名は……

【COLLAPSE OF THE EARTH】

訳すると地球の崩壊

ドッカーン

俺が静かにコインを入れたその瞬間、地球はおろかこの銀河系さえも一瞬にして崩壊してしまった……

なんてことにはならなかった。お金を入れても何にも起きなかった。

「……なんにも起きねえ」

正直なところ、こんなことをしている自分が恥ずかしくなってきたので俺はその店を後にしようと歩を進めた。だが一歩外へ踏み出したところで店内からひそひそと声らしき音が聞こえてきたので俺はその足をまた店内に戻し耳を潜めた。

「店長、あの箱……凄い店の利益に献上してますね。ですけどあれって詐欺にならないんですか？ ボランティア団体にあれ渡してないですし……」

「大丈夫でえーあれは募金箱じゃねえし、だいたいにしる獲物は自分から進んで金を放り投げてやがんだから」

「……………ほんとですね。これ募金箱ってなってますね」

(後書き)

どう思いましたか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8379b/>

募金してはいけない募金箱

2010年10月25日02時41分発行